

三次元生体親和性義歯の説明



桜井式無痛デンチャーのことです。

当院では、桜井式の「無痛デンチャー」を総入れ歯の患者様にお勧めしています。なぜなら、桜井式無痛デンチャーは仮義歯の時点で調整が可能な高い成型技術でピッタリ装着できる義歯を実現します。

- ・『痛みを感じず』
- ・『安定し』
- ・『よく噛み食事ができる』

総義歯機能三要素を兼ね備えた入れ歯(義歯)です。健康保険の適用外ですが、ピッタリとした安定感のある入れ歯(義歯)を、作成することができます。ただし、従来の短時間製作とは異なり、段階的な作業とやや複雑な手順を踏むため、装着完成に少々時間がかかります。

総入れ歯ほど、噛み心地や違和感、安定感など違いを感じるものであり、「合う」、「合わない」の結果がやすいものです。この桜井式無痛デンチャーは、その他の入れ歯と違い、入れ歯にお悩みの方には満足をして頂けるものです。ご興味のある方は一度ご相談ください。

なぜ無痛デンチャーがよいのか？

まず、桜井式無痛デンチャーは入れ歯を2つ作ります。



※ 仮義歯(これを装着して患者さんの顎の位置や筋力を調整していきます。)

うち一つ目の入れ歯は、仮義歯(上の写真)を装着することにより、歯がなくなっていく過程でズレてきた顎の位置を戻し、衰えた顎の筋力と粘膜を鍛えるためのものです。

粘膜面がやわらかくなり、奥の歯が正しい噛み合わせを作るために平らになっていくと、噛み痕が形成され、そこから顎の動きや左右の違いが読み取られるようになります。



※ 本義歯(本義歯は噛み心地はもちろん審美性【見た目】も非常に良く作られています。)

この入れ歯を使い、口腔内を調整し形を取り、作った入れ歯は、患者様のお口にピッタリとあった良く噛める安定した痛くない入れ歯として、長い間ご使用頂けます。